

令和8年2月12日
国交省下水道の市民科学勉強会
事例紹介資料

若年層に向けた広報事業について ～長野県立大学との取組～

 長野市上下水道局総務課 主査 和田 純一

FEEL NAGANO,
BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市



戸隠水源



逆川(戸隠)

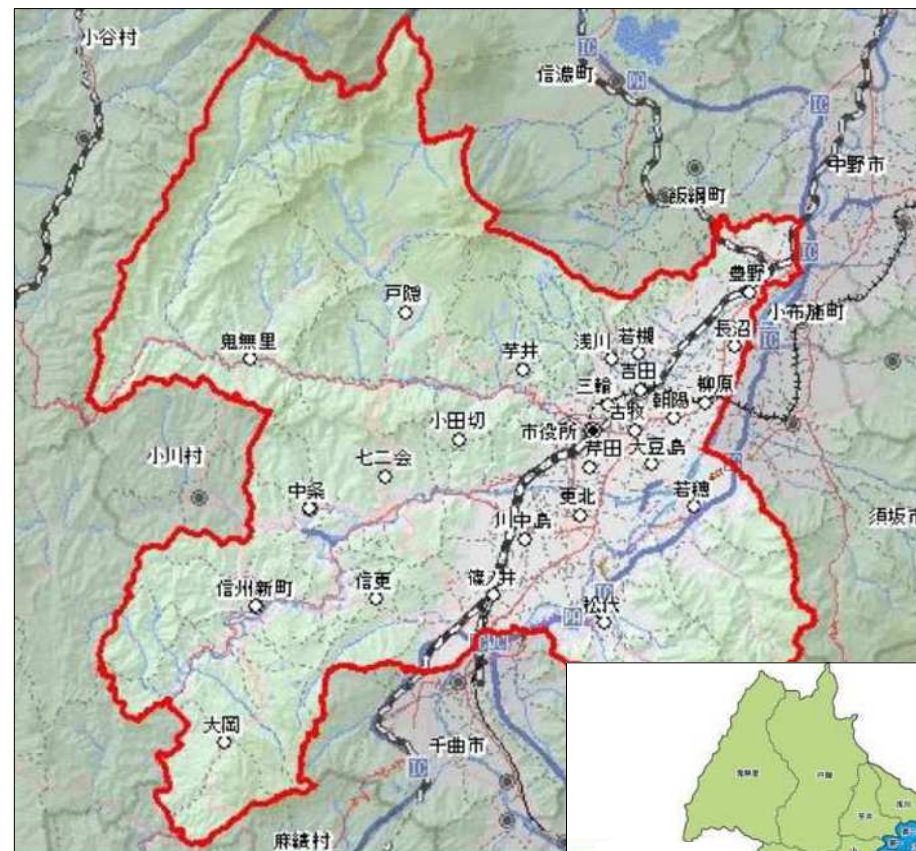
長野市の概要

2

- 長野県の北部に位置
- 人口 359,860人(R8.1.1現在)
- 面積 834.81km²(市では全国53位)

地理的な特徴

- 市の中心を犀川、東側を千曲川が流れる
- 市街地は長野盆地の中央に位置しており、善光寺・長野駅など主要施設が存在
- 西側は中山間地域、市域面積の7割を占める



FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

長野市上下水道事業の概要

3

○水道事業の概要

計画給水人口 : 259, 573人

一日最大給水量: 95, 836 m^3

有収率 : 88. 2%

職員数 : 107人

○主要浄水場・水源

犀川浄水場(85,787 m^3 /日)

夏目ヶ原浄水場(50,000 m^3 /日)

川合新田水源(21,000 m^3 /日)

○市域の南側(犀川より南側)は、
長野県企業局が管理運営を行っている

水道事業区分図(浄水場20か所・水源57か所)



犀川浄水場



夏目ヶ原浄水場

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

長野市上下水道事業の概要

4

○下水道事業の概要

整備区域面積:9681.9ha

水洗化人口:335,556人

日最大汚水量:214,001m³/日

職員数 :60人



東部浄化センター



流域下水道終末処理場

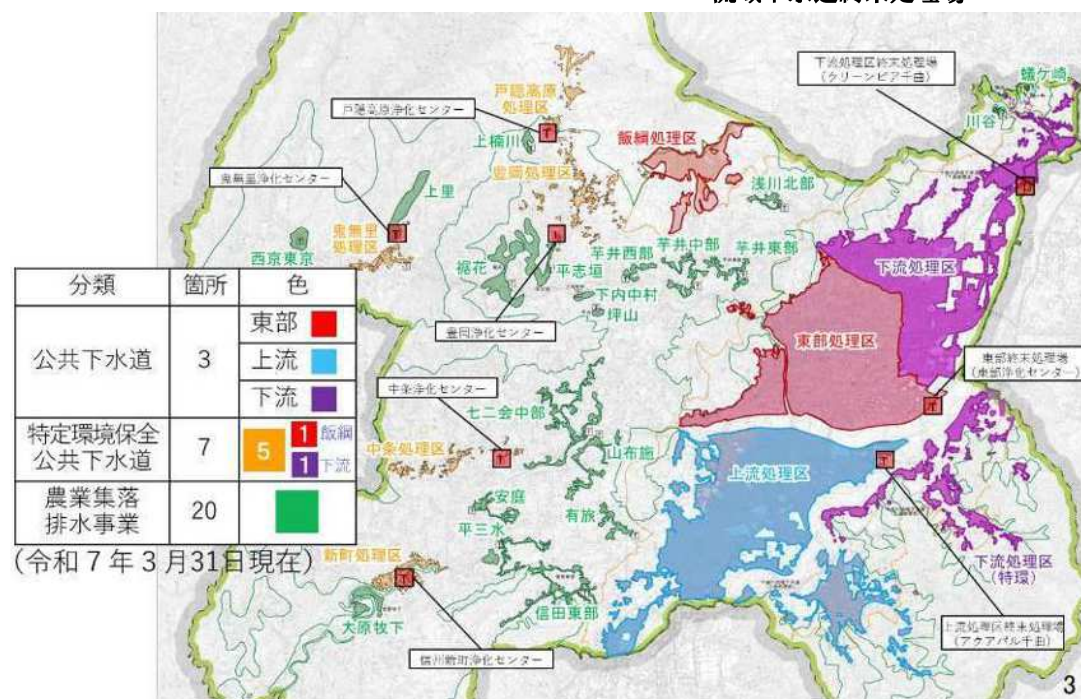
○主要処理場

東部浄化センター(市)

アクアパル千曲(流域下水道:県)

グリーンピア千曲(流域下水道:県)

○水道事業とは異なり、市域全体で
市が事業経営



3

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

長野市上下水道事業の概要

5

○水道事業の現状

基幹管路耐震管率:44.5%

管路経年化率:32.58%

管路更新率 :0.25%



管路状況表

(R6年度末 現在)

種別	管路延長	老朽管延長	経年化率
基幹管路	361km	140km	38.8%
配水支管	2,129km	671km	31.5%
管路全体	2,490km	811km	32.6%

※ 経年化率: 老朽管延長 ÷ 管路延長 × 100

20

○下水道事業の現状

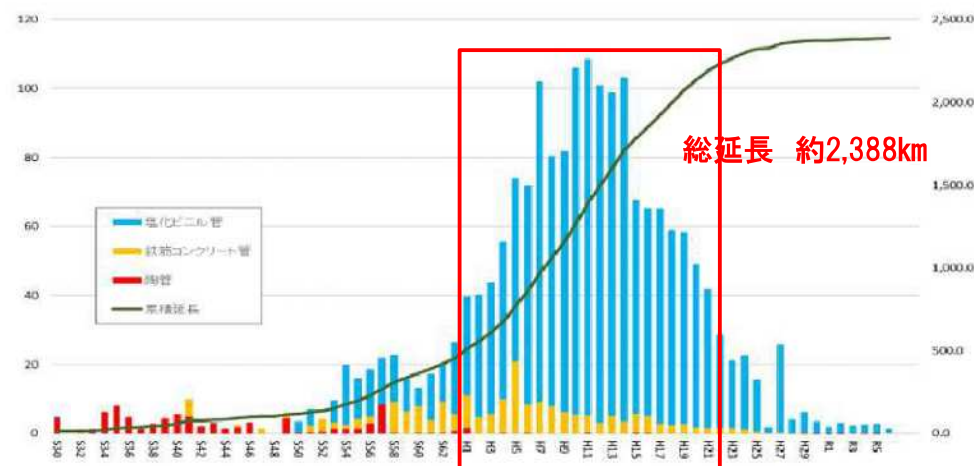
管渠耐震化率:34.5%

管渠老朽化率:3.44%

平成初期から一挙に整備

<老朽化対策を講じない場合の今後の老朽化率>

年度	R6	R7	R10	R20	R30
老朽管路延長(km)	90.6	94.4	127.2	424.9	1235.4
老朽化率(%)	3.8	4.0	5.3	17.8	51.7



FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

広報事業の必要性・きっかけ

7

【上下水道事業の課題】

○人口減少による、給水人口の減少

→今後50年で4割減少する

→現状の料金では維持できない

○老朽化対策の遅れ

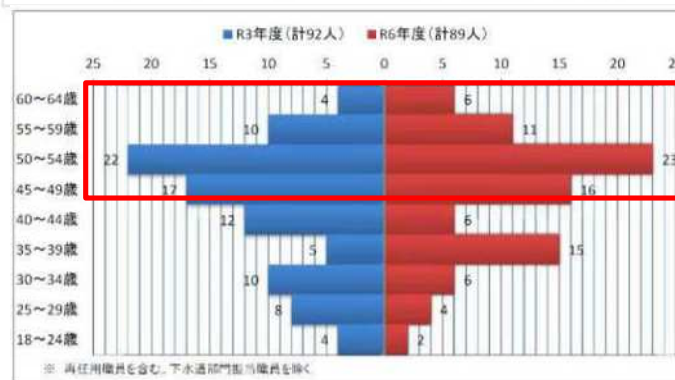
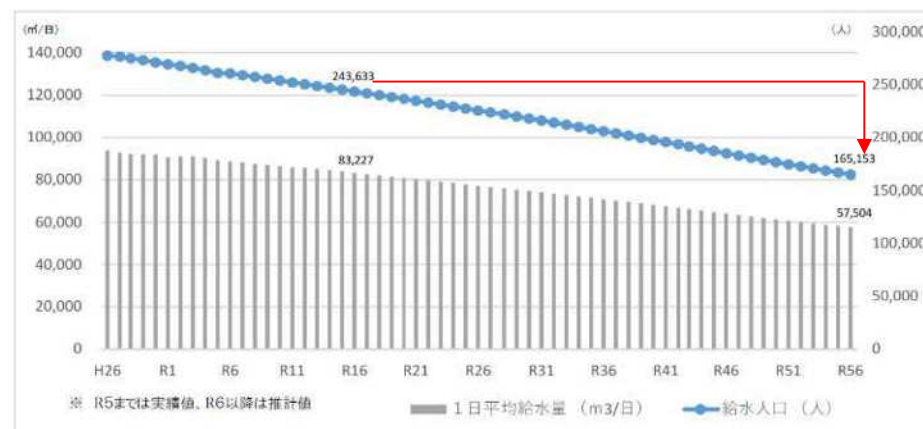
→更新率0.25% 100年以上かかる(上水)

○人材の不足

→従事する職員の高齢化、事業者の不足

○激甚化する災害

給水人口・一日平均給水量



技術職員の年齢構成



破裂した鋳鉄管 (500mm)

▶ 上下水道の現状を知ってほしい、将来について一緒に考えてほしい

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

若年層に向けた広報事業について

8

○従来より、広報紙「ながの水だより」や施設見学等による広報
出前講座などを実施

→将来を担うことになる若い世代にきちんと広報できているか？

→議会からも「若年層にしっかりと伝えるように」意見

⇒局若手職員の意見 「若い人は紙で広報やっても見ない」

○技術職員の採用に苦戦している中、水道局の仕事をPRしたい、
興味を持ってほしい



▶ 若年層に向けた広報事業を追加で実施することを検討、新規に次の事業を実施

1 企業と連携した広報事業

2 高等教育機関と連携した広報事業

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

若年層に向けた広報事業について

9

1 企業と連携した広報事業

○企業の集客力・客層を活かし、若年層を中心とした市民に
本市の水環境・上下水道事業の理解を深めてもらう

○上下水道局の若手職員から、特に世代が近い若年層に
直接、説明し、対話ができる機会を創出する

○事業についての理解のきっかけ・醸成が主目的

⇒「普段飲んでいる水はどこの水で、どこに流れていくのか」
知ってもらうだけでも違うはず

⇒地勢も知ってもらえることから、他部局とも連携できる

【本市の場合、「都市ブランド」(自然の豊かさ・多様性の推進)】

市内のスターバックス コーヒー 2店舗と協働

【信州善光寺仲見世通り店、MIDORI長野店】

利き水、利きコーヒーを通じて、市の自然地理、水源、水道の
維持管理について理解を深めてもらう



スターバックス コーヒー 信州善光寺仲見世通り店



スターバックス コーヒー MIDORI長野店

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

2 高等教育機関と連携した広報活動

■長野工業高校と連携した取組

○実施内容

長野工業高校文化祭において、長野市の水道・水について発表を行う生徒への支援

○きっかけ

- ・インターンシップ受け入れが契機
- ・浄水場の隣に位置している同校にもっと水道のことを知ってほしい

○実施の詳細

- ・工業高校の生徒が、浄水場で同校OBを主体とした職員から水道（施設や水源）について学習、学習内容を文化祭で発表
- ・発表時には、上下水道局がスターバックス コーヒー MIDORI長野店と協働で、利き水・利きコーヒーを提供、水・コーヒーについての解説も生徒に行ってもらう。



2 高等教育機関と連携した広報活動

■長野県立大学と連携した取組

○きっかけ

- ・若い世代に上下水道事業を知ってほしい、興味をもってほしい(市)
 - ・長野県立大学の秋葉教授が「フューチャー・デザイン」の手法を講義に取り入れる(大学)
- ⇒本市上下水道事業について、教授にご興味をもっていただく(シラバス変更等が課題)

▶国交省の啓発事業にもご関心をいただき、連携事業としてシラバスを変更し、実施

※フューチャー・デザイン

将来世代になりきって現在の社会課題について考える手法
特性上、上下水道事業などのインフラ系と相性がよく、岩手県矢巾町において
取り入れた結果、住民自ら水道料金の値上げを求めた事例が有名

※国交省の啓発事業

若年層が将来あるべき水道のあり方について検討を行い、同世代に向けて
メッセージを作成する啓発事業

2 高等教育機関と連携した広報活動

■長野県立大学と連携した取組

○実施内容

「長野市の上下水道について、将来世代から現代の世代へ向けたメッセージを作成してもらう」

- ・20年前の世代になりきって現代を考える(パスト・デザイン)
- ・20年後の世代になりきって現代を考える(フューチャー・デザイン)

○具体的な内容

- ・事前に知識を学習してもらう(上下水道の仕組、長野市の地理・上下水道の歴史、災害など)
- ・長野市内の上下水道施設、歴史の転換点であるオリンピック施設を見学
 - ⇒ 浄水場の取水から、下水処理場の河川放流まで河川の流れに沿って見学
 - ・若手職員が対応を行い、質問をしやすい環境を作る
 - ・普段の見学と異なり、老朽化する場所、コストがかかる場所も具体的に紹介
 - ・将来については、敢えてインプットしなかった(学生に考えていただく)

長野県立大学と連携した取組について

13



事前学習で使用した「長野市の水道の歴史」

長野県立大学×長野市上下水道局 施設見学
～地域の水の循環や水インフラの過去・将来を学ぶ～

長野市上下水道局

- 1 目的
地域の重要な資源である「水」の循環や、生活に必要不可欠な水インフラを中心とした長野市の歴史を学び、将来あるべき姿を考える基礎とする。
- 2 日時
令和6年12月14日（土曜日）午前9時から午後1時40分まで
- 3 見学施設
長野市犀川浄水場、川合新田水源、東部浄化センター、
長野オリンピックミュージアム
- 4 見学の内容
・河川からの取水から使用した水の河川への放流まで、一連の流れを見学することで、長野市内の水の循環や、それぞれの施設が現在抱えている課題について学びます。
・長野市の人口が最も多かった長野オリンピック周辺の歴史を学びます。
- 5 見学のスケジュール
長野県立大学三輪キャンパス 9:00 発→長野駅東口 9:15 発
→9:30 着 犀川浄水場【見学】10:30 発→10:40 着 川合新田水源【見学】
11:10 発→11:20 着 東部浄化センター【見学】12:20 発→12:25 着 Mウェーブオリンピック記念ミュージアム【自由見学・車内で昼食】13:05 発→長野駅東口 13:25 着→長野県立大学三輪キャンパス 13:40 着

施設見学のコース



東部浄化センターの見学

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

○事前学習と施設見学を実施した上で、
本番(令和7年1月8日)

- 秋葉教授の講義において、フューチャー・デザインを用いて20年後の将来世代から現代の世代へ「今必要なこと」についてメッセージを作成してもらう
- 学生70名弱、グループワーク形式



学生が作成したメッセージ(20年後の世代から今の世代に言いたいこと)

- 水質をよくするにはどうしたらよいか考えといて
 - 水の大切さを知ってね
- 水道管についての技術を持ってる人も増やしといてね
 - 水道局に就職しよう
- 水道料金が家計の大きな負担にならないようにしてほしい
 - 水道料金も上げて設備費用も確保しておいて
- 水道局の現状と課題を勉強しよう
 - 水道に関する学校教育の充実をしよう
- 耐震化早急に進めといて
 - 水道管をちゃんとチェックしてね

～お気に入りの「水」を探そう～

大学の講義で長野市の水道の将来について、考えてもらいました。
実際に水道の水を飲んで、その味や仕事について知ってみませんか？
飲む場所(水源地)によって味が変わるかも・・・

日時：令和7年1月8日(水) 12:30～

会場：三輪キャンパス ラーニングホール

内容：・気に入った水を探そう
・おいしい水って何だろう？
・長野市内の水源地はどのくらいあるだろう？
・その維持管理は
どんな仕事をしているのだろうか？

主催： 長野市上下水道局

※無料、入退場も自由です
(どなたでも参加できます)



長野市上下水道局のキャラクター
みずのたまご

講義後のイベント
事前に学んでもらう、見てもらう、話し合ってもらう、
実際に飲んでみてもらうが一連の流れになるよう実施

事業を行ってみて(学生からの感想・抜粋)

施設の設備更新のお話のなかで、毎日機械のどこかしらが不調を起こすとお聞きしたときは大変驚きました。みなさんが設備維持に尽力してくださっているからこそ私たちは今このような快適な生活を送れています。これまでより一層長野市の水道事業への興味関心を深め、出来ることから協力していきたいと強く思いました。

水が当たり前で飲める環境を見直す機会になりました。普段の生活では水道に対して料金や味という表面上のことしか見ていませんでした。

莫大な規模の上下水施設と水道管を先人が築き、受け継いできたという背景に気づいている人は少ないと思います。

特に下水に関しては、具体的な費用を知り、固定費の大きな事業の経営の難しさを学びました。

職員の皆さんの「町の人々の生活を守る」という強い意志は、私たちが水と向き合うだけでは決して見えてこない、けれども一番大切なものだと思います。

▶ 今年度も長野県立大学と長野市上下水道局で連携事業を実施(市単事業)

・令和6年度の事業を踏まえ、テーマを絞り込んで実施(上水道のみ)

・20年前・後から50年前・後に範囲を広げてみる

(長野五輪から長野市の都市計画決定くらいまでさかのぼる)



広報活動を実施する意義・実施する上で必要なこと

○なぜやるのか？

- ・料金が減っていく中で、更新や耐震化などを進めなければならない
- ・市民の生活や意見が多様化し、紙は見ない。説明会をやっても人が来てくれない、まとまらない
- ・上下水道事業は複雑で、事業統合や料金改定の際など、市民と双方向のやり取りをしたくてもなかなか正しい知識で理解してもらえない
- ・市民に上下水道事業に対して前向きにかかわってほしい

▶ まずは、事業に対する理解の醸成・きっかけとなる機会が必要ではないか？

○実施する上で、必要なもの

- ・予算はほぼなくても実施できる
- ・上下水道事業の関係者にとらわれない、「人」のつながりが大切(入口になる)
- ・**事業課の協力は絶対に必要**

【浄水課】・【下水道施設課】

- ・市民との対話で若手職員が成長する機会
 - ・事業に対する市民理解の機会
 - ・技術職員の就職対策の機会
- として、事業実施に尽力してくれた

▶ 事業を行ってみて・・・



FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

ご清聴ありがとうございました



長野市

本資料の二次使用・加工を禁じます
資料には担当個人の意見が含まれます

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市